2022年5月19日開会 (通算132回)

例会開催日は、木曜日です。

開会点鐘・歌の斉唱

我等の生業

会長挨拶

皆さん、こんにちは。
メンバーの数が多くなってきましたね!会員が増えるということは色んな情報の交換も増えるということだと思いますので、すごく嬉しいなって思います。ここから見える景色も違ってきました。もっともっと皆で会員を増やして10周年に向けて100名を目指していきましょう。その為にはこの会がためになるよとか自分たちのものになるよっていうことをもっと伝えていかなければいけない。次年度会長の年度計画にもあるように、もっとロータリアン・もっとロータリーです。もっともっと仲間を増やしていって、友達同士が繋がっていって皆で稼いでいこう、稼いでから社会奉仕、青少年奉仕していこう地域貢献していきましょう。

先ほど、RCCの朝日インテック・ラブリッジ名古屋のこと、女子サッカーのことについて少し堀田さんとお話しました。日本はスポーツに対する支援が少ない国です。例えば硬式野球は大学までは部活動としてできるのですが、それ以上やろうとするとプロ野球にスカウトされるか社会人野球にスカウトされる以外、続けることができなくなるんです。硬式野球のボールは硬いし危ないので公園などではできません。しかし市内には一般に貸し出してくれる場所は

熱田球場と瑞穂球場しかないんです。練習するとなると津島とか大府とか市外しかないんです。こういう小さなことでも支援できないかなと思っています。自分一人の小さな会社ではできないけど、皆が集まればもっと大きな事ができると思います。この間のアンケートにもっと社会奉仕したいとありました。こういう小さなことも奉仕のひとつなんじゃないかと思います。
また、ジェギョンさんたちのような若い子が活躍する場を作ってあげる。可能性を見つけてあげる。それも奉仕であると思います。僕は好きな言葉があって、それは「無力の人間はいない。大きな力を持った人間もいない。小さな力を集めれば大きな力になる。」です。皆で力をあわせて色々やっていけたらと思っています。

6月に国際大会があります。ヒューストンで開催されるのですが、コロナで行く事はできません。でも次からはぜひ皆で参加したいと思っています。世界中に知り合いができたらビジネスチャンスがもっともっと広がるのではないかなと思っています。ロータリーにはその可能性がある。色んな事に参加してみることでチャンスは広がる。それによって奉仕ができる。もっとロータリーを知ってほしいし、活用してほしい。みんなでロータリーを楽しみたい、そう思っています。では今日も一日お願いします。ありがとうございました。

幹事報告

●前回ご報告しました、エコキャップ回収活動について、本日より受付にて回収を行っております。すでにご協力頂いている方はご協力ありがとうございます。
次回の例会でも回収を行う為、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。
●6/10(金)に鈴木会長が春日井ロータリークラブさまで卓話されます。会場はホテルプラザ春日井です。お一人では心細いとのことですので、皆様も参加されませんか?
●本日例会前に次年度予定者クラブアッセンブリーを開催致しました。
●次回例会6/2(木)12:10～13:30@若宮の杜迎賓館1階「橘の間」
例会前に第2回次年度予定者理事会の開催を予定しております。
例会後は第12回定例理事会の開催を予定しております。

委員会報告

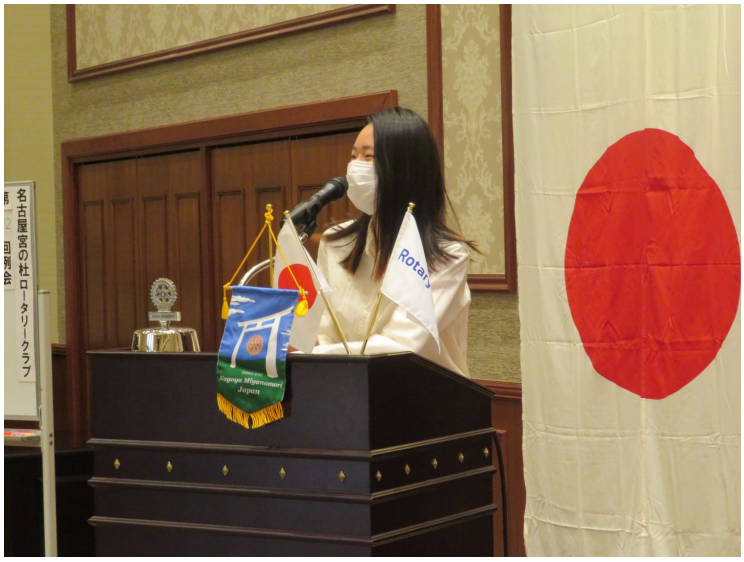
【出席委員会】
・出席率(出席免除者2名含む)
(今回)
第132回例会(5/19)
当日出席率:34/54名　62.9%
(前回)
第131回例会(5/12)
当日出席率:53/54名　**98.1%**
※出席免除者除いて計算

・ニコボックス
永田聡子より
良いお天気ですね。皆さん元気でお会いできて嬉しいです。
柴田智志より
本日もよろしくお願いします。

加藤謙一より
前回　欠席ですみません!

大野将義、佐野洋一郎、鈴木拓将、高木俊郎、田中吉彦、堀江大介より
第132回例会を祝して

【米山記念奨学委員会】
2021学年度米山記念奨学生
イ・ジェギョン氏より



皆さん、こんにちは。
とても暖かくなってきて半袖を着る人が増えてきました。今日は自転車で来たのですごく暑くて大変でした。
先ほどボランティアのお話が出たので、今日はボランティアのお話をします。韓国は中学、高校と必ずボランティアの時間を各60時間果たさないといけないと決まっております。私の兄が重症障害者の方が住んでいるところにある学校に通っていて、私も小学生の頃に一緒に行っていました。また禁煙を支援する団体にも行っていました。高校の時にはロータリーのボランティアインターアクトで活躍していました。
母が韓国のロータリアンで、老人の方々に無料でご飯を配る食堂の活動をしていたのでそこで作業したりもしていました。日本に来てからも何かできればいいなと思っていたのですが、コロナもありましたし、自分で探すのは大変だからということもあり1年の頃は何もできませんでした。
学校で毎月5万円で毎日30分だけ話すという英語の授業があったのですが、それが終わってからも授業以外でもっと英語の勉強がしたいと思い、お金を払わなくても英語が話せる機会があればいいなと思いました。それが私だけでなく、一緒に講義を受けていた友達もそういう風に考えていて、じゃあ英語の話せる部活を作ればいいんじゃないかなと思って、申し込みに行くと4年生はもう作れないということでした。出来ることがなくなったという感じがします。
今、実は7割くらい韓国に帰ろうと思っています。就職せずに。日本で有名な企業に就職したいと思っていたのですが、それより起業しようと思っています。母も私と6、7年離れているので、戻ってほしいと言っています。
今は日本にいて素敵な宮の杜のみなさまと関わっているので、何かあればぜひ参加させて頂きたいと思っています。
今日もありがとうございました。

その他

〜委嘱状伝達式〜
2022-23年度地区青少年交換委員会へ出向 加藤謙一

～名古屋宮の杜ロータリークラブ　アンケート結果報告②～

出口茂奉仕委員長より

前回に続きまして宮の杜ロータリークラブアンケートの結果報告をさせて頂きたいと思います。
ご存知の方も多いと思いますが、私は普段会計士と税理士をしております。会計士が5割くらい、税理士が5割くらいです。
職業柄、我々ロータリークラブは第三者からはどういう存在なのかっていうのを少しお話させて頂きます。分かりやすくいうと税務署とか国税局と致しましてはロータリークラブは奉仕団体という扱いになります。
それがどういう影響があるかといいますと、会員の皆さまの多くは会社経営をされているので法人となり、法人は利益を追求するということなので会費を払うという場合には基本的には費用になります。諸会費とか交際費とか。ただし、個人で会計事務所などをやっている私のような個人事業主はロータリークラブやライオンズクラブの会費は損金にはなりません。なぜかというとロータリークラブやライオンズクラブは奉仕団体なので、個人の場合は思想やボランティア活動の一環でロータリーに所属しているだけであって企業としての費用性は認めないよという国の考えがあるからです。私の場合はロータリーの会費は費用にしていないよということです。個人と法人は考え方が違うということですが、だからといって活動方針が違うってことではないです。第三者的にはロータリーはそういう風に扱われるんだということで、それぞれ考え方や、思いがあることを踏まえた上で、アンケート結果報告に移りたいと思います。

アンケート結果についてはこちらをご覧ください。